令和７年度　指定管理施設検証結果報告書

PLAN

施設名	甲州市やまと天目山温泉資源活用施設				検証日	令和8年7月2日
所管課担当名	観光商工課　施設管理担当		課長名	林　正樹	作成者名	山形　勝一

指定管理者	名称	株式会社　栄和交通				
	代表者	代表取締役　原田　孝典				
	所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1				
	指定期間	令和6年（2024年）4月　～　令和11年（2029年）3月				
管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町木賊517番地				
	設置目的	温泉資源の活用を通じて、市民福祉と健康の増進を図るとともに、広く一般の休養のための施設として、温泉資源活用施設を設置する。				
	利用者	市民、市民以外	施設管理体制	7名	開館日時間等	○営業時間 10：00～19：00 ○休業日 毎週水曜日・年末年始

事業概要	サービス提供の内容	
	指定管理業務	(1) 天目山温泉の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。 (2) 天目山温泉施設使用料徴収事務に関すること。 (3) 天目山温泉施設利用料の徴収事務に関すること。 (4) 施設利用にあたってのサービス、指導に関すること。 (5) その他の日常業務 (6) 施設の維持、管理及び修繕（大規模な修繕は除く） (7) 備品等の維持、管理及び修理（大規模な購入及び修理は除く） (8) その他施設の管理に関すること。 (9) 業務の報告
	自主事業	(1) イベントの開催 (2) 広告・宣伝 (3) 自社路線バスの活用 (4) 自社ネットワークの活用 (5) 季節ごとの館内装飾の模様替え (6) 付帯設備の充実

施設名	甲州市日川渓谷緑の村					
指定管理者	名称	株式会社　栄和交通				
	代表者	代表取締役　原田　孝典				
	所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1				
	指定期間	令和6年（2024年）4月　～　令和11年（2029年）3月				
管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野3番地				
	設置目的	緑豊かな自然環境の保全及び活用を通じ、広く一般に保健と休養の場を提供するとともに、産業の振興に寄与するため、日川渓谷緑の村を設置する。				
	利用者	市民、市民以外	施設管理体制	5名	開館日時間等	○営業時間 ・1日利用の場合：9：00～17：00 ・宿泊の場合：15：00～10：00 ○休業日 ・4月、5月、6月、10月、11月（毎週火曜日・水曜日） ・7月、8月、9月（毎週水曜日） ・冬季休館：令和6年12月1日～令和7年3月31日まで

事業概要	サービス提供の内容	
	指定管理業務	(1) 緑の村施設の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。 (2) 緑の村施設使用料徴収に関すること。 (3) 緑の村施設利用料の徴収事務に関すること。 (4) 施設利用にあたってのサービス、指導に関すること。 (5) その他の日常業務 (6) 施設の維持、管理及び修繕（大規模な修繕は除く） (7) 備品等の維持、管理及び修理（大規模な購入及び修理は除く） (8) その他施設の管理に関すること。 (9) 業務の報告
	自主事業	(1) イベントの開催 (2) 広告・宣伝 (3) 自社路線バスの活用 (4) 自社ネットワークの活用

DO

管理運営コスト推移（千円）		令和６年度（指定期間1年目）	令和７年度（指定期間2年目）	令和８年度（指定期間3年目）	令和９年度（指定期間4年目）	令和１０年度（指定期間5年目）
予算	指定管理料	15,619	10,035			
	利用料金収入	38,750	40,350			
	その他収入	15,700	17,860			
	管理運営経費	69,960	67,635			
決算	指定管理料	15,619	10,035			
	利用料金収入	32,266	31,844			
	その他収入	17,508	18,000			
	管理運営経費	59,928	60,926			
	収支	5,465	-1,047			

施設の稼動状況		令和６年度（指定期間1年目）	令和７年度（指定期間2年目）	令和８年度（指定期間3年目）	令和９年度（指定期間4年目）	令和１０年度（指定期間5年目）
指標	施設利用者数（人）	46,838	48,611			

活動結果	・山岳シーズンには自社バスを甲斐大和駅から上日川峠まで運行する中で、車内アナウンスで利用を促したりポスターを掲示するなど、登山客も含めて誘客に繋がるようにするなどの経営努力をしており、やまと天目山温泉及び日川渓谷緑の村両施設の利用者数は昨年度より増加している。 ・やまと天目山温泉については、利用者数の増加はもとより、昨年度から好評を得ていた農産品の扱いを拡充するなどし、売店は目標を超える売上に繋がっている。しかしながら、日川渓谷緑の村は、スタッフの入れ替えによるBBQメニューの限定的運用や団体利用客の減少もあり目標に対して利用者数は大きく下回る結果となった。

	評価観点	評価 （5 4 3 2 1） 高 → 低	評価の説明
CHECK	（1）事業の運営	3	・協定書に沿った管理運営が行われた。 ・山岳シーズンには自社バスを運行しており、登山客も含めて誘客に繋がるようにするなどの経営努力をしていた。 ・やまと天目山温泉の売店では、地元業者による土産品の取扱いや農産物の取扱いを拡充するなどの取り組みが行われた。 ・日川渓谷緑の村のスタッフの入れ替えに伴い、従前どおりのBBQ食材セットの仕込み体制を維持することが困難となったため、提供する食材セットのコースを一種類に集約せざるを得ず、結果として受入人数を限定する運営となった。
	（2）施設の維持管理	3	・日常点検、法定点検を着実に実施し、施設の適正な維持管理に努めていた。 ・必要な修繕を確実に実施している。
	（3）収入支出	3	・やまと天目山温泉の収入面では、山岳シーズンの自社バスの運行によって登山客も含めた誘客に努めたことで、着実に利用者数が増加しており、結果として収入の増加に繋がっている。また、売店の充実も収入増加に繋がっている。 ・日川渓谷緑の村においては、受入人数の制限を行った結果、当初見込んでいた収益が得られず、収支計画と大きな乖離が生じた。 ・両施設において物価高騰の影響により、仕入れ費用が予算額を大きく上回る支出となったが、適正な人員配置等による人件費の抑制など経費縮減の取り組みが行われている。
	（4）総合評価 優良　良好　妥当　要改善　不適	妥当	総合評価の説明（施設所管課による一次評価） ・施設の適正な維持管理を行いつつ、自社バスの運行など、継続して誘客に取り組んでおり結果として昨年度から両施設とも利用者を増加させていることは高く評価できる。しかしながら、収支計画とは乖離があるため妥当と判断する。

ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応	
	当面の課題	・引き続き、利用者増加に向けた取組が必要である。 ・施設及び設備の更新と修繕のタイミングを見極めていくことが必要である。 ・日川渓谷緑の村ではスタッフの入れ替えによるBBQメニューの限定的運用や団体利用客の減少などにより目標利用者数を達成するまで大きな差があるため、複合的な視点から様々な取り組みを行い利用者数を増やしていくために指定管理者と連携していくことが必要である。
	課題解決への対応	・利用者増加に向けた取組については、指定管理者との定期的なモニタリングや日々の連携の中で、周知方法等について協議していく。協議の結果、効果が見込めるもので実行可能なものは順次実施していく。 ・指定管理者による日常点検や法定点検の結果等を元に指定管理者と協議を行いつつ、施設及び設備の更新と修繕のタイミングを見極めていく。早期の対応によりトータルコストの抑制ができる可能性があるものは早期の実施を検討していく。

二次評価（公共施設活用等検討委員会での総括意見）

・両施設において仕様書及び協定書のとおり適切に運営されている。
・両施設において施設維持管理については、定期的な保守及び計画的な修繕、更新がされている。
・サービスの向上に取り組んでおり、自社バスの効果的な運行により積極的な誘客に努めた成果として利用者が増加している点を評価したい。
・引き続き、サービス向上と継続した利用者拡大に向け取り組んでいただきたい。